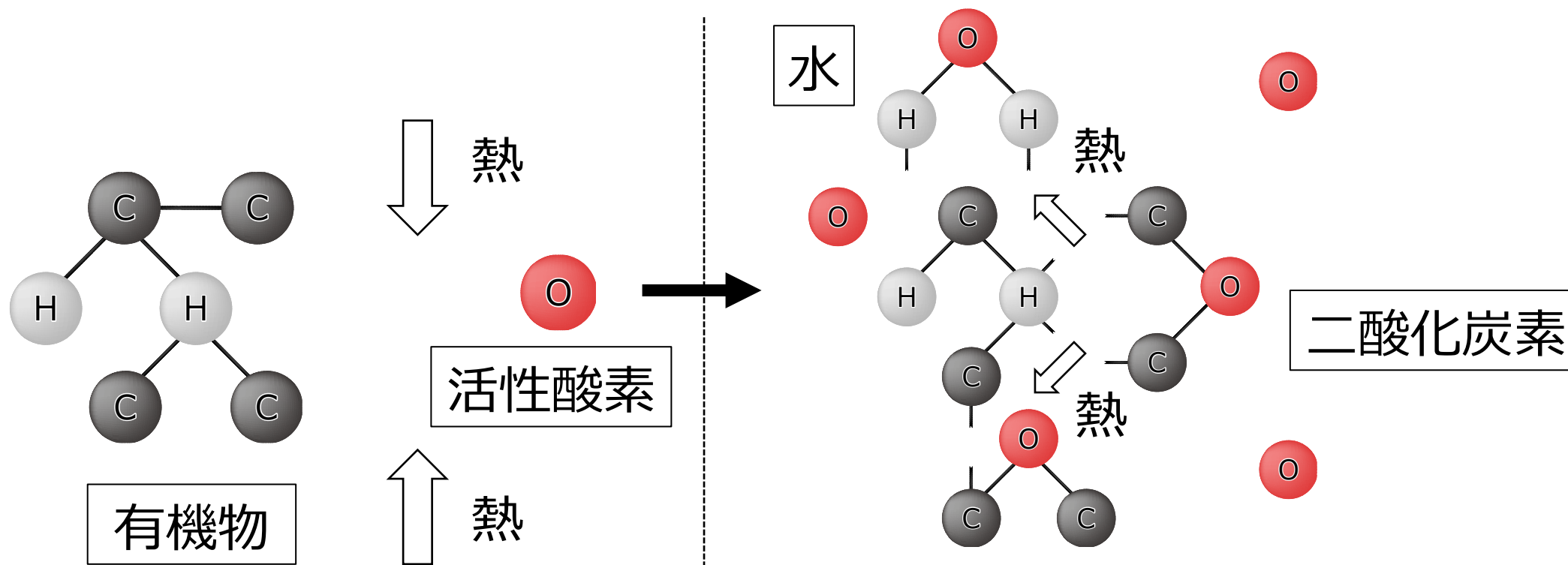


分解の仕組み



①熱運動エネルギーが一定に達すると供給された・OHは吸熱しCやHとくっつくようになります（結合の組み換えが起こります）

②これによって元ある原子結合が切れたとき、新たな熱エネルギーが発生します。

①と②が連鎖することによって結果として投入した有機物はH₂OとCO₂へ組代わり即ち原型をとどめずに消失することとなります。

※本装置においては2～300℃、発火点以下での緩やかに分解を行います。6～700℃に達しないことからダイオキシンの心配もありません。

※連鎖反応による熱を利用しますので追加の燃料が不要です。酸素も供給しないため発火の心配もありません。